

事業概要シート

施策	1801	道路網の整備	≪≫の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く		
事業名	竹松駅前原口線整備事業		拡充	予算額	333,300 千円
事業期間	平成22年度 ～ 令和10年度			≪ 298,306 ≫千円	
根拠法令 要綱等	都市計画法		財 源 内 訳	国庫支出金	159,115 千円
				県支出金	千円
				地方債	120,700 千円
				その他	千円
				一般財源	53,485 千円

【事業の目的・概要・対象】

【事業の目的】

通勤通学の歩行者や自転車の安全確保、緊急車両等のアクセス向上を図ることを目的とする。

【概要・内容】

本路線は、住宅地として整備が進む富の原地区とＪＲ竹松駅を結ぶ都市計画道路で道路拡幅による両側歩道設置を行い、歩行者の安全を確保するものである。

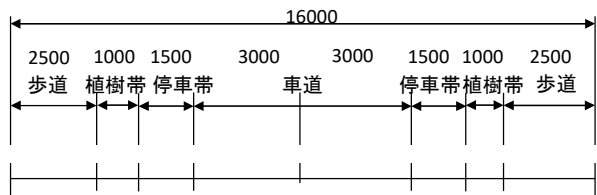
今回、交差点整備計画の見直しにより、国道交差点から竹松駅側へL＝91mの区間において、交差点改良及び歩道改良が必要となったため、事業範囲を拡大する。

〈標準断面図(標準部)〉

計画延長及び幅員

L＝691m W＝16m

【対象】当該道路利用者・当該地区住民



位置図



【背景】

現道は狭隘で路側帯が無く、歩道が片側のみで危険な状況となっており、歩行者の安全確保が求められている。

また、令和3年度通学路合同点検の結果、道路管理者による対策必要箇所として抽出され、警察や学校等が実施する安全教育などのソフト面での対策に加え、本事業を実施している。

担当課	都市整備部 道路整備課	課長	内田 清和
担当者	森 哲哉	問合せ先	0957-53-4111（内線424）

事業概要シート

【活動指標】

指標名			単位	R 5 (実績)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)
①	整備率（事業費）	計画値	%	63.3	77.6	79.2	91.1	98.3
②		計画値						

【成果指標】

指標名			単位	R 5 (実績)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)
①		計画値						
②		計画値						

【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計
事業費	59,238	119,980	298,306	333,300	251,885	153,254	1,215,963
国庫支出金	31,705	61,664	160,275	159,115	138,537	84,290	635,586
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	25,491	46,400	119,300	120,700	102,013	62,068	475,972
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,042	11,916	18,731	53,485	11,335	6,896	104,405
人件費	7,768	4,264	4,578	7,992	7,992	7,992	40,586
職員(人)	0.95人	0.50人	0.55人	1.00人	1.00人	1.00人	5.00人
時間外勤務(h)	430h	314h	289h	360h	360h	360h	2113h
会計年度任用職員(人)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
フルコスト	67,006	124,244	302,884	341,292	259,877	161,246	1,256,549

妥当性 (市の関与)	本路線の周辺は小学校・中学校が立地しており、通学路の要対策箇所指定されているため、歩行者の安全を確保する整備が必要である。
有効性 (施策貢献度)	通勤・通学時の歩行者の安全性向上 整備路線は緊急輸送路に指定されており災害時の輸送の支援向上が図れる。
効率性 (コスト)	適切な工法で設計し、効率的な施工計画を策定する。

1次評価	早期完成のため、適切な設計、効率的な施工計画を策定し整備を促進する。
2次評価	1次評価のとおり。